



完熟させ堆肥づくり

土から生まれた命 土に返す

桐生市梅田町で20代の若者たちが耕作放棄地を再開墾し、無農薬有機栽培による野菜づくりに取り組みNPO法人(特定非営利活動

法人)の二元気の出るファーム。肥料づくりに大きなこだわりがある。干し草やぬか、落ち葉くず、牛ふんなどを

「手際のモノ」

ませ、1年以上かけて完熟させた堆肥(たいひ)は不快なおいが少ない。8割が植物性、2割が動物性の比率だ。

虫に食われるものなども当然出るが、食用に回せない残さも肥料の材料として使い、決して無駄にしない。土から生まれたものを土に戻し、再び生む循環が続いている。



自転車通勤記
環境のため健康のため
道標

「かきとたハン」
カキは塩
差分に切る
る。2人分
卵を溶いて
網に入れ
パラパラに
ため、塩、
取り出す。
を熱しニン
り、カキ
を加える。
イスターソ
よう、タフ